

視察報告書

発行No. S-170208
作成日 2017.2.10
作成者 佐原充恭

視察地 兵庫県小野市 小野市役所 日時 2017.2.8(水) 14:00～15:30

視察テーマ **高齢者見守りQRコードシール事業/自転車保険加入交付金について**

視察目的 徘徊する認知症高齢者等を、市民を巻き込み保護する先進事例を学ぶ。

視察メンバー (敬称略) 会派『市民クラブ』メンバー(中嶋祥元、鈴木浩二、伊藤幸弘、山内智彦、黒川智明、佐原充恭)

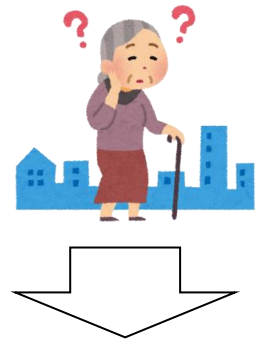
1) 高齢者見守りQRコードシール事業について

資料出展: 小野市HP、いらすとや

①徘徊者を発見、声掛け

1. 「お出かけ見守りQRコードシール」事業の概要

認知症等による徘徊者の連絡先(個人情報保護の為、自宅ではなく市の窓口)が登録されたQRコードを印刷したシールを、アイロン等の熱で衣服や靴、杖などに貼り付ける。



所管部署: 地域包括支援センターにて事前登録

申し込み方法: 高齢者外出見守り事前登録届出書を提出

配布対象: 外出に見守りが必要な65歳以上の市民と、40歳から64歳の介護保険認定者

配布枚数: 登録届出者1名につき、1シート(シール10枚分)を配布

費用: 初回無償 2回目以降は1,000円/1シートで販売

②シールがあればQRコード読み取り



2. 運用方法(右図フロー参照)

※発見者(徘徊者を発見し、QRコードを読み取り通報した人)は、状況に応じ、関係機関が到着するまで本人とともに待機する。

3. QRコードシールを採用した理由

- ・コンパクトかつ多くの情報が登録でき、デザイン性もある(ひまわりは小野市の市花)。
- ・普通のシールは剥がれてしまうが、本品は洗濯耐久性があり剥がれない。
- ・GPS端末の貸し出しは月額費用がかかるが、QRコードは費用がかからない。

4. 効果の確認

これまでに48名が登録、うち4名が徘徊。発見者がQRコードを読み取って通報した実績はないが、QRコードシールを身に付けていた方が警察等に保護された際、地域包括支援センターもすぐに身元を把握できた。



5. 課題と今後の対応

- ・山奥や人気のないところでは見つけにくい。
→見守り模擬訓練を実施し、地域で支え見守る意識を醸成。
- ・見つけるまでに時間がかかる、スマホでQRコードが読み取れない方が多い。
→QRコードシールと認知症への理解を深める。

2) 自転車保険加入交付金について(資料配布のみ)

1. 制度の概要

- ・交付対象: 市内の中学生を補償対象とする保険等に加入している世帯の保護者
- ・交付金額: 年額1,000円/世帯
- ・交付方法: 各学校→教育委員会がとりまとめ→振込
- ・保険の種類、賠償額、保険会社は問わず、各家庭で加入。
- ・既に自転車保険に加入している場合も対象とするが、新たな加入は不要。
- ・助成期間は中学在学中の年度単位。

2. 効果の確認と今後の対応

- ・加入率は制度前38%→制度開始後76.9%と倍増。多くは賠償額5千万円以上に加入。
- ・未申請者は未加入が多いと思われる。加入率100%を目指したい。

③通報、保護※



所感: QRコード事業は、徘徊を「お出かけ」と表現するなどネーミングが優しい。認知症キッズサポーターの要請にも取り組み、子ども達の理解を深める取り組みも進められている。市民と協働しながら高齢者や困っている人を見守り、保護したいとの姿勢に感銘を受けた。自転車保険加入補助は、自転車事故の加害者/被害者双方を救済する有効な施策。議会で継続提案していきたい。

◆読み取り内容◆
【連絡先】
警察署か下記に連絡をお願いします。
◆月曜日～金曜日(8時45分～17時15分)
小野市地域包括支援センター
Tel.0794-63-2174
兵庫県小野市王子町801
◆上記以外の場合
小野市役所
Tel.0794-63-1000
兵庫県小野市王子町806-1

視察報告書

発行No. S-170209
作成日 2017.2.10
作成者 佐原充恭

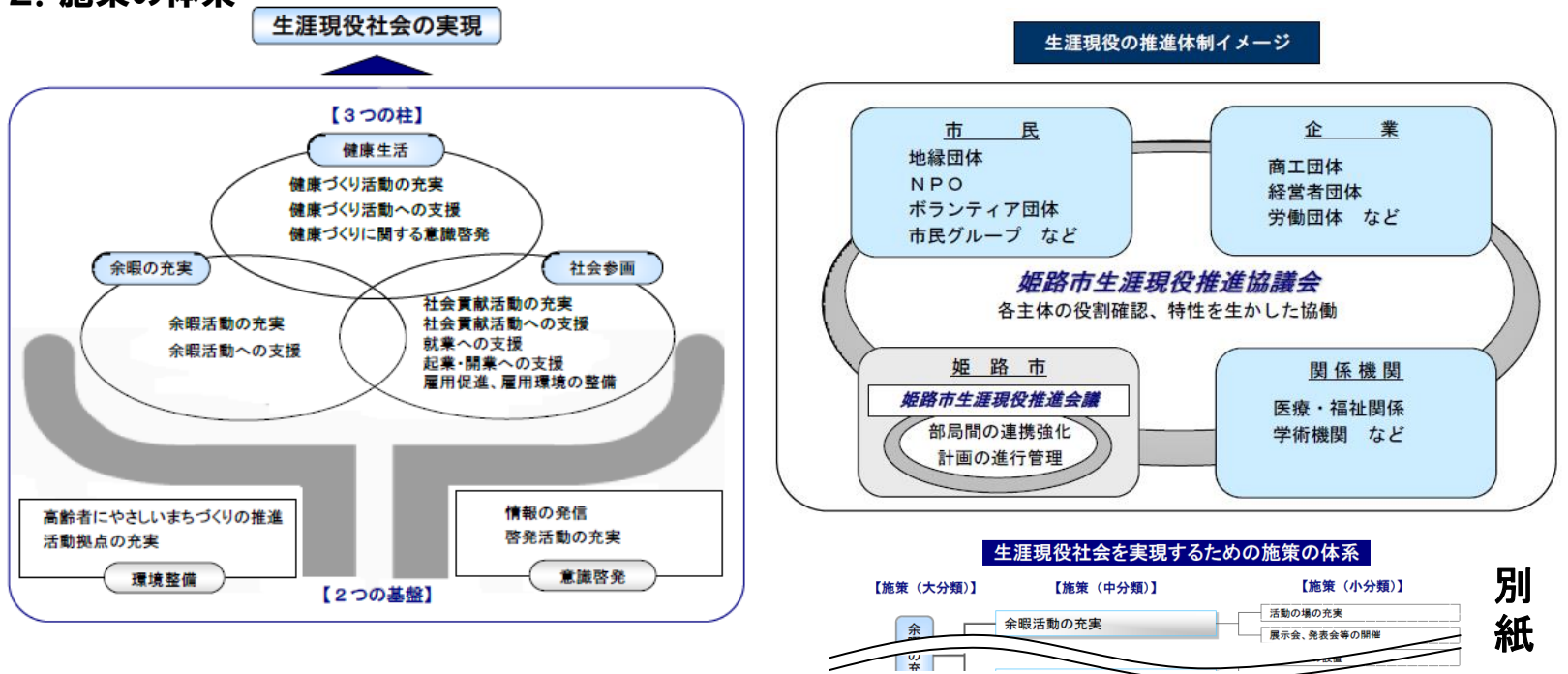
視察地	姫路市役所及び姫路城	日時	2017.2.9(木) 9:00～12:30
視察テーマ	生涯現役推進計画について及び姫路城見学		
視察目的	高齢者が生涯現役で活躍できるまちづくりの先進事例を学ぶ。姫路城を見学し、刈谷城部分復元の参考とする。		
視察メンバー (敬称略)	会派『市民クラブ』メンバー(中嶋祥元、鈴木浩二、伊藤幸弘、山内智彦、黒川智明、佐原充恭)		

1)生涯現役推進計画について

1. 事業の経緯

本格的な高齢社会の到来と少子化の進行、平均寿命の伸長と価値観の変化を背景に、平成22年3月に「姫路市生涯現役推進計画」を策定。基本計画は平成32年までの11年間(総合計画と合わせる)。その後、高齢者のイメージも意識も変化し、年齢にかかわらず「仕事や趣味を続けたい」、「地域活動等に参加したい」という人が増えてきたため、平成26年に「姫路市生涯現役推進計画【改訂版】」を策定。

2. 施策の体系



3. 生涯現役応援ハンドブック掲載事業の例(高齢者向けの多彩なメニューを斡旋)

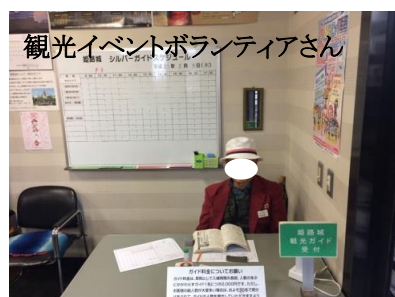
- ・生涯現役人材バンク:知識や技能を活かし、地域や学校で講演や制作指導を行う。原則としてボランティア。
- ・観光イベントボランティア:例=姫路城のガイドボランティア。長期連休等は6～7人で説明対応。
- ・生涯現役フェスティバル:生涯現役で活動する市民グループのステージイベントや展示。

4. 今後の課題と対応

- ・アクションプランの事業評価(担当部署による自己評価。ABCランク付け)にバラツキ、数値目標と実績のかい離。
→年度見直しと改定時の大幅見直しにより、実効性のあるものにしていきたい。

2)姫路城見学

約5年に渡る平成の修理により、天守閣が白漆喰で塗り直され、鮮やかに蘇った。本日も約2千人が来場している模様。外国人観光客も非常に多い。広大な城内と天守閣の風格、400年以上の歴史を誇る大黒柱に感動。姫路駅からも近く(徒歩約10分)、郷土の宝、ランドマークとして絶対的な存在感がある。



所感:生涯現役のまちづくりをプロジェクト化し、高齢者が活躍できる多様な機会、場所を創出している。老人クラブの加入率が高いなど、地域の絆の強さが背景にある。健康長寿や医療費の削減効果は検証できていないとの事だが、間違いなく効果はあると思う。特に70才程度までのアクティブシニアが活躍できる受け皿を更に増やすよう提言していきたい。刈谷城部分復元の成否は、スケールではなく、歴史的建造物の価値を人々にどう伝え、肌で感じて頂くかがカギとなる。実施設計までうまくプレゼンして欲しい。

生涯現役社会を実現するための施策の体系

別紙

【施策（大分類）】

【施策（中分類）】

【施策（小分類）】

余暇の充実

余暇活動の充実

活動の場の充実

展示会、発表会等の開催

余暇活動への支援

相談窓口の設置

講師・指導者の派遣

学習成果を生かす仕組みづくり

社会参画

社会貢献活動の充実

活動の場の充実

相談窓口の設置

講座等の開催

活動のリーダー養成

コーディネート組織の設置

アドバイザー派遣

活動資金の支援

市民活動に関する情報・交流機会の提供

老人クラブ活動への支援

社会貢献活動への支援

就業への支援

就業機会の提供

就業に関する相談等

起業・開業への支援

講座の開催

起業・開業に関する相談・融資

雇用促進、雇用環境の整備

企業への働きかけ

健康生活

健康づくり活動の充実

講座等の開催

運動する機会・場の充実

健康づくり活動への支援

相談窓口の設置等

活動のリーダー養成

講師・指導者の派遣

活動資金の支援

自主活動グループへの支援

健康づくりに関する意識啓発

情報提供や意識啓発

環境整備

高齢者にやさしいまちづくりの推進

バリアフリーの推進

高齢者の外出促進

高齢者の交通安全意識の向上

活動拠点の充実

高齢者が活動する場の充実

地域における活動拠点の整備

意識啓発

情報の発信

総合的な情報提供

相談窓口の設置

啓発活動の充実

啓発講座・イベントの開催

生涯現役に関する表彰・顕彰

退職者のセカンドライフ支援